

今年も残すところあとわずかとなりました。日々成長していくこどもたちの一年も、まとめの時期に差し掛かっています。実り多い一年だったでしょうか？寒さに負けずに元気に走り回るこどもたちの笑顔に思いを馳せます。

令和7年度 STEP-UP 第2号では、夏から秋に開催した研修の中から「アプローチカリキュラム研修会」「第4回幼稚園教諭・保育士合同研修会」の様子をお伝えします。

**アプローチカリキュラム研修会 【7月31日(木) 133名参加 産業プラザPiO】**

**テーマ 「幼児教育と小学校教育の連携と接続」～架け橋期のカリキュラム～**

**講師 武藏野大学 教育学部 教授 箕輪潤子先生**

**講義内容のポイント**

**☆架け橋プログラムと架け橋期のカリキュラム**

**架け橋プログラム**

- ・保幼小の連携交流の仕組み作り
- ・カリキュラム開発（開発会議の発足、運営）
- ・カリキュラムを踏まえた教育の接続

**架け橋期のカリキュラム**

- ・園と小学校で一緒に作成するカリキュラム
- ・幼児教育と小学校教育の違いを踏まえてデザイン
- ・子どもの実態や姿を共有して作成

**☆幼児教育と小学校教育の違い**

**幼児教育における子どもの経験・学びの評価**

「方向目標」「個人内目標」を中心とする

「保育者が設定した目標（ねらい）」について

「保育者の感覚、視点、観点など」により

「どのような経験をしていたか」「何を感じていたか」

「子どもの様々な経験、思いなど」を捉える

**小学校以上の教育活動における子どもの学びの評価**

「到達目標」「目標に準拠した評価」を中心とする

「教師が設定した目標（ねらい）」について

「教師が設定した評価指標」の視点から

「どの程度到達したか」を捉える

**〈グループワーク〉**

研修会後半では、前半の講義で学んだポイントをもとにグループワークを行いました。小学校、幼稚園、保育園から集まったメンバーが、それぞれの立場から感想や意見を出し合い、交流、情報交換、意見交換を行いました。  
～グループワークステップ～

- ①子どもの姿をもとに共通の「育ってほしい・育てたいこども像」を考える（子どもの素敵なもの、課題等）
- ②6、7月の具体的な活動（生活、遊び、学習）の中での姿を想像する
- ③どのような環境、教材を使うか①で出た意見をもとに「伸ばしたいところ」「育てたい子どもの姿」につなげていくためにどのような援助、指導を行うか、具体的に話し合う（共有する視点について）



教師、保育者の立場を超えて、こども観を語り合いました。

どのグループでも積極的な意見交換が行われ、笑顔や共感の声にあふれていました。

**講師総評**

架け橋期のカリキュラムは、幼稚園・保育園・小学校が協同で作成するだけでなく、それぞれの違いや共通点、横のつながりを大切に語りあって作っていくもの。同じ視点を共有する取り組みを大切にしてほしい。

カリキュラム作成のための打合せ時間をとるのは難しいが、交流などでお店屋さんごっこに行かせてもらい授業を見たり、おもちゃを見せてもらって園に帰って作ってみる等、日常の交流をしていくことで見えてくるものがある。